

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和56年度～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	03 水産業
事務事業名		01	水産基盤整備事業
根拠法令・規程等		漁業振興特別対策事業実施要領	
問		担当課(室)	日生総合支所管理課
合		職・氏名	課長補佐・濱山 一泰
先		電話	0869-72-1259

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地元漁業協同組合等
目的(何のために)	現在の漁場環境では、今後、大幅な漁獲高の伸びは期待できないため、人工魚礁や消波施設等の設置により有用魚介類の増殖や漁場の整備が必要で、特に、稚魚の生息場所として、また、海洋環境の保全に重要なアマモ場の造成を行う。また、より効率的、安定的な漁業経営が可能となる施設を整備する。
行政活動(どのような方法で)	・上記目的の達成に向けた補助金の交付 ・県事業等に対する負担金(東備地区広域漁場整備事業負担金、東備水産振興協議会負担金、全国漁港漁場協会負担金、東部地区小型船舶安全協会負担金)
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水産業の生産性を向上させ、産業としての自立性を高めて行くためには、漁場を改良し水産資源の生育環境を改善するとともに、施設整備を行いより効率的、安定的な漁業経営を目指す。

事業の実績									
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績			
	補助金交付件数	件		2	1	1			
実績	各種負担金	件		4	4	4			
	事業費	必要人員	人件費	千円	0.85人	6,536	0.36人	2,694	0.42人
業績	事業費	事業費	計	千円	23,482	25,034	21,642		
	国	県	支出金	千円	3,385	4,658	2,150		
	受	益	者	負担金	千円				
	総	入	金	千円	12,600	17,400	15,000		
	市	他()	債	千円	7,497	2,976	4,492		
一	般	財	源						
受		益	者	負担	比率	%			

結果指標名					
結果指標①	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	達成率(B/A)
補助金交付件数	件	2	1	1	50.0%
対前年比	%				100.0%
活動コスト	円	7,320,000	7,011,000	4,806,000	
単位当たりコスト	円	3,660,000	7,011,000	4,806,000	
結果指標②	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	達成率(B/A)
各種負担金	件	4	4	4	100.0%
対前年比	%				100.0%
活動コスト	円	12,778,000	17,201,000	16,836,000	
単位当たりコスト	円	3,194,500	4,300,250	4,209,000	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
漁獲高(トン)	目標値(A)	600	600	600	650
	実績値(B)	582	548	541	到達目標年度
	達成率(B/A)	97.0%	91.3%	90.2%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
漁獲物の商品価値の向上及び漁家経営の安定					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 日生海域では、藻場の衰退等が原因で水産資源の減少が著しいため、その回復・増大が求められており、藻場の再生や幼稚仔保育場、成魚生息場等の整備により漁獲量の増産が見込まれるため妥当である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明 安定的な漁業経営の観点から。	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 県事業に対して、工法等を協議し内容によっては見直しを要望し、コスト削減を図る。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 施設は計画的に整備されているが、漁獲高は自然的要素があるため年度によって増減がある。

平成21年度の状況		結果指標量②		成果指標量	
目標値	結果指標量①	1	4	570	
状況	拡充 <input type="checkbox"/>	現状継続 <input checked="" type="checkbox"/>	見直し <input type="checkbox"/>	縮小 <input type="checkbox"/>	整理統合 <input type="checkbox"/>
説明	施設整備に関する補助金交付件数1件、県事業等に対する負担金4件。				

総合評価		評価区分<A~E>
漁業施設についてはほぼ年次的に整備されているが、日生町鹿久居島周辺海域で藻場の再生・拡大による浅海域の修復等を目的に実施している県事業「東備地区広域漁場整備事業」の早期完成を目指す。		B

平成22年度以降の方向性・内容		結果指標量②		成果指標量	
方向性	拡充 <input type="checkbox"/>	現状継続 <input checked="" type="checkbox"/>	見直し <input type="checkbox"/>	縮小 <input type="checkbox"/>	整理統合 <input type="checkbox"/>
説明	現段階では細事業の取りやめは難しい。				
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果	